

陶芸自主活動グループ「粘土カフェ」の穴窯の活動は、年に1度の窯焚きを実施し、今回(2009年度)で5回目となりました。

年度初めに話し合いを持ち、2回の薪運び、13回の薪割り、4回の作陶会を行い、いよいよ3月13日(土)、法人会員10名・一般参加者8名と学生ボランティアさんも含め21名の作品が持ち込まれました。翌14日(日)と15日(月)に窯詰めを行いました。窯焚きは、17日(水)午前10時に火入れをし、5日目の21日(日)午後2時半に窯を閉じました。昼夜約100時間焚き続け、この間、人手の少ない時間帯もありましたが、土日などは参加者のご家族やお友達のお手伝いもあり、総勢27名での窯焚きとなりました。窯出しは、4月17日(土)と18日(日)に行いました。

年間を通して、今回の「穴窯焼成」の活動に関わった人は、半日程度のボランティアさんも含め、総勢40名でした。他にも、間伐材を提供して下さった関係団体、差し入れやアドバイスをくださった方々などもあり、多くのご支援ご協力のおかげで、今年も実施できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

新年度は、担当を交代して、5月16日(日)の薪運びから始動しています。引き続き、活動の趣旨に賛同し、参加を希望される方を募集しています。

(陶芸自主活動グループ「粘土カフェ」前年度担当：田上 早百合)



モルタルと砂に混ぜる藁(わら)を切る



作品すべての窯詰めが完了!



赤松の木っ端で温度を上げる一般ボランティアさん



3人体制で、攻め焚き



窯の余熱で棚を乾燥させながら



焚き口からの燠掻き



最前列の窯出し後の、窯の中



作品を前に、恒例の合評会